

参加無料
予約不要

2024年7月19日(金)～21日(日) 10時～17時
東京・浅草公会堂 1階展示室

79年目の夏

戦場体験パネル展

ボランティアが書きおこした26名の体験

- ◆零戦操縦士、真珠湾攻撃 ◆ビルマ、泰緬鉄道建設
- ◆キスカ島撤退作戦 ◆海南島、アヘン栽培 ◆中国戦線、捕虜の刺殺訓練
- ◆中国戦線、軍医(生体解剖) ◆中国山西省からフィリピン・ネグロス島へ
- ◆731部隊 ◆空母「瑞鶴」の航海士、マリアナ沖海戦
- ◆空母「瑞鶴」15歳の少年電信兵 ◆テナアン島 ◆戦艦「武蔵」沈没
- ◆フィリピン・ルソン島 ◆フィリピン・レイテ島 ◆駆逐艦「雪風」
- ◆沖縄戦、白梅学徒隊 ◆遺族、召集された父が帰ってこない
- ◆航空乙参謀(第十航空艦隊司令部付き)
- ◆特務艦鳴戸(給油艦)、天雷特別攻撃隊 ◆占守島
- ◆満州開拓団(教師)、戦後中国共産党に留用
- ◆シベリア抑留(ウオロシロフ、死体運搬) ◆シベリア抑留(ウズベキスタン)
- ◆仙台空襲 ◆登戸研究所 ◆幌筈島(千島列島)での飛行場建設

戦場体験者の 講演会

講演会は毎日2回あります。

1回目は11時開始、2回目は14時開始です。

1回につき体験者は1名から3名登壇します。同じ時間帯に複数の体験者が登壇する場合は、体験者ごとにテーブルを分け、同時に講演を行います。

(茶話会スタイル)

講演者は毎回変わります。

予定の詳細は、戦場体験放映保存の会のホームページ<<https://jvvap.jp>>をご覧ください。(または保存の会までお問合せください。)



主催 戦場体験放映保存の会

語る
らず
死
ね
る
か
!

今回の展示について（文字起こしプロジェクトのご紹介）

現在、保存の会では、戦場体験のインタビューを収録した動画ファイルの文字起こしに取り組んでいます。そして、今回展示しているすべての証言パネルは、この取り組みに参加しているボランティア・メンバーが新たに作成したものです。会場には、証言パネルとともに、作成者のコメントも一緒に展示しています。

メンバーは、数時間に及ぶ動画を何度も聞きなおしながら一言ずつ言葉を拾い、言葉の意味を調べたりしながら、体験者に寄り添うように文字起こしを進めてきました。証言インタビューに応じて下さった戦場体験者の方々の多くは既に鬼籍に入られてしまいましたが、文字起こしを通じ、時間を越えた記憶の継承が行われていると感じています。

文字起こしプロジェクトについて

史料館・電子版(<https://jvvap.jp>)では、現在約300名の体験記録を公開しています。加えて150名分の証言概要が作成済み(サイト未公開)です。公開する証言記録の数を拡張するため、保存の会では、2025年度末までに、戦地や内容の希少性が特に高い100～200名の証言概要を新たに作成し、未公開分と併せてサイトに公開することを計画しています。

証言の文字起こしをして下さる方を募ったところ、34名の方に応じて頂き、現在44名分の文字起こしが進捗しています。

文字起こしをして下さる方を引き続き募集しています。ノルマや期限はなく、各自の作業ペースでお願いしています。ご興味のある方は、保存の会までお気軽にお問合せください！

登壇を予定している戦場体験者のご紹介



1925(大正14)年6月生まれ
陸軍 歩兵
第100師団独立歩兵第165大隊
海軍 第103軍需部ダバオ支部
フィリピン・ミンダナオ島



1925(大正14)年生まれ
陸軍特別甲種幹部候補生に志願
豊浜船舶工兵教育隊
香川県豊浜にて103号型輸送船の訓練



1926(大正15)年4月生まれ
陸軍 航空兵(通信)
陸軍 少年飛行兵(14期生) 志願
航空総軍司令部通信班



1924(大正13)年11月生
陸軍 歩兵
27師団支那駐屯第3連隊、
第131師団独立歩兵第596部隊
中国中部～南部の3千kmを徒歩で行軍



1925(大正14)年5月生まれ
陸軍歩兵
シベリア(コムソムリスク)に
3年間抑留

空襲体験者、移民として戦場を体験された方等、様々な体験者も当日会場にお越し頂く予定です。どの方がいつ登壇されるかは、ホームページおよびX(旧Twitter)にてお知らせします。

<HP> <https://jvvap.jp> <X(Twitter)> @JvvapJP

会場へのアクセス



浅草公会堂

所在地：東京都台東区浅草1-38-6

<地下鉄>

銀座線(渋谷～浅草)

「浅草駅」1番・3番出口 徒歩5分

都営浅草線(西馬込～押上)

「浅草駅」A4出口 徒歩7分

<私鉄>

東武鉄道「浅草駅」北口 徒歩5分

つくばエクスプレス「浅草駅」A1出口 徒歩3分

戦場体験放映保存の会について

戦場体験放映保存の会

2004年12月に設立。アジア太平洋戦争の戦場体験を主に動画で後世に遺す活動を行っています。

元兵士・軍属の方々、沖縄や敗戦時の満州など、戦場とつながった地域におられた民間人の方々からの聞き取りを行っています。体験者自身が呼びかけの先頭にたち、戦争を知らない世代のボランティアが収録活動にあたる老若一体の活動を展開してきました。

収録した体験記録は、ホームページ(戦場体験史料館・電子版 <http://www.jvvap.jp>)で順次公開しています。

無色・無償・無名

私たちは「無色、無償、無名」を固い原則にしています。どんな立場の方も、どんなご意見の方も、ただ戦場体験を語り継ぐ一点だけで手を繋ぎあいます。戦争の極地であった戦場がドラマや将官の戦記物のみで伝わることを避け、名もなき我々の声を残しておきたいのです。

問合せ先

公益社団法人マスコミ世論研究所内

戦場体験放映保存の会

〒114-0023 東京都北区滝野川6-82-2

TEL 03-3916-2664(火木土日祝 10時～17時)

FAX 03-3916-2676

e-mail senjyou@notnet.jp

戦場体験史料館HP <http://www.jvvap.jp>